

きらり☆

松橋支援学校 広報誌

第57号

平成30年

1月発行

熊本県立
松橋支援学校

〒869-0543

宇城市松橋町

南豊崎252

TEL 0964-32-0729

防災を地域とともに

校長 甲斐憲彦

新年 明けまして おめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

本校では、昨年から平成28年4月の熊本地震を踏まえ、「防災型コミュニケーションスクール」を進めてきました。その中で、宇城市の防災担当、南豊崎区の区長や消防団長、本校の学校評議員や保護者代表の方々による運営協議会を開き、避難経路の見直しや大規模災害時の避難所としての学校の役割についてご意見をいただいています。

委員からは、2次避難場所として協力をお願いしている豊川小学校までの避難経路や方法、備える道具などのアドバイスがありました。また、登校日の災害を想定して児童生徒の保護者への引き渡し訓練や地域の人々との合同防災訓練の実施、さらには緊急時を想定して校内に避難場所を整備することも検討してはどうかとの意見が出されました。

また、宇城市の要請で本校が避難所に指定された場合、どのような施設設備を提供できるか。障がいのある子どもや高齢の方を対象とした福祉避難所としての役割をどのように果たせるかなどについて話題になっています。

これまでは、学校独自で災害に備えてきましたが、今回の運営協議会で保護者や地域の声を聴き、行政の考えや方向性を知ることができました。課題はたくさんありますが、地域と学校が一体となってひとつひとつ実行するとともに、災害に備える方策をさらに考えることができたいと思います。今年も、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



豊川小学校との合同避難訓練
(平成29年10月)

全校人権集会

1948年12月10日、国際連合で「世界人権宣言」が採択されました。今年は、12月4日から1週間を「人権週間」として各地で様々な活動が行われています。本校でも「友だちとのつながりを大切にしよう」というテーマで人権集会を行いました。全校児童生徒（氷川分教室の生徒は、テレビ会議システムで参加）が集まり、生徒会長・校長先生・人権教育主任からの、人権に関する話を聞いたり、関係図書を紹介等があったりしました。また、各学部・学科の児童生徒からの取組発表では、ふわふわ言葉発表・標語作り・友だちのいいところ探し等、児童生徒の実態に合った発表があり、みな真剣に聞いていました。



「未来へ羽ばたけ 専門学科」

専門学科 10周年を祝う会



平成20年4月に開設された高等部専門学科は、今年度で10年の節目を迎えました。12月16日に、来賓、卒業生、旧職員、保護者の方々をお招きして、「創設10周年を祝う会」を行いました。午前中は「祝う会」のセレモニーのあと、学年対抗の合唱コンクールを行いました。手話を交えた課題曲「翼をください」とそれぞれの自由曲を歌いました。お昼には、昼食会で歓談したり、園芸科・工芸科の作業製品販売を行ったりと、和やかな雰囲気になりました。フィナーレでは生徒代表が「お礼の言葉」を述べ、最後にキャッチフレーズ「未来へ羽ばたけ 専門学科」を全員でコールしました。この「祝う会」は準備・受付・司会・販売などを、生徒がそれぞれスタッフとして携わりましたが、スムーズに進めることができました。10年の歴史を振り返り、これからの活力を得る充実したひとときとなりました。



氷川 分教室 だより

21日に、地元草農家の特別にご来校いただき、八代地域の産物である草を使った製品づくりの体験を行いました。最初に、草について、その用途などについてのお話をいただきました。その後、畳表を使ったコースターづくりを体験しました。生徒たちは説明を受けながら、千代紙で畳表に縁をつけて丁寧に製作しました。製作を終えた生徒たちは「難しかったけど、楽しかった」、「畳のいい香りがする」と感想を話していました。



高等部がん講演会 〜大切ないのち〜

12月12日に、がん教育講演会を行いました。今年度は高等部専門学科全員と普通科一般学級1年の生徒が、事前に保健の授業などで学習をして、「いのちをつなぐ会」のがんを経験されたおふたりの話を聞きました。講演では、周囲の声かけで元気をもらい、がんをのりこえられたことや、なりたくない自分になるように、元気で精一杯生きてほしいことを話されました。また、宇城市保健センターの方からは検診の大切さ、実際の検診方法を教えていただきました。生徒は「もっとよくがんを知り、がん患者の方を支えたいです」「社会人になってもこの話を忘れず、予防・検診をしっかりとやります」等、講演会後の感想を聞かせてくれました。